

今、その時を逃さない



第 128 号

2018 年 5 月

～悔いのない関わりを日常から～

風話鈴香

「今年の桜が最後になるかもしれない」と考えたことはありませんか？
寒い冬を何とか乗り越え咲き誇る桜の花は特別なもの。

職員と個別に公園へ桜を見に行ったり、ご家族にお願いして連れて行っていただいたり、催しを楽しんでいたことが行事担当が企画しました。

4月7日、室内にて花見気分を味わって頂こうと催しを企画しました。

特養家族会の藤原会長に挨拶をお願いし、乾杯、食事を楽しんでいただいた後は、「すみれ会」の日本舞踊や腹話術などで楽しませていただきました。ボランティアグループ「園」のメンバーによる大正琴の伴奏で皆で歌をうたい、デイサービスをご利用の皆さんも集まっていただき、大盛況でした。

職員から「外でのお花見が当たり前でしよう」との声もあり、準備や移動はしんどいし、大変だけれど「やろう!」と声を上げれば協力してもらえ人がある。そのことが日常にもつながる。

花見に限らず、園田苑の行事のあり方、企画・運営ができる職員を育てていかなければなりません。「楽しいこと・しんどいことも皆です」園田苑であり続けたいです。
(河合 恵子)

来年も一緒に花見しようね

今日は名古屋から私の四つ下の従兄弟が帰省しており、一緒に祖母に会いに来ました。晴天に恵まれ、ゆっくり祖母の車椅子を押しながら近くのコンビニまで散歩しました。途中の墓地には従兄弟の父親のお墓もあり、3人でお墓参りも出来ました

公園でジュースとシュークリームを食べて一服して、帰って来ました。来年もこんな風に穏やかに花見が出来たらなあと思えます。
(太田 純)



私たちの 目指すもの

- 一、地域に開かれた施設
- 二、入居者、家族、施設、地域のみんなで作る福祉を！
- 三、老人と共に生きがいを見い出す生活を

社会福祉法人 阪神共同福祉会 園田苑

青空喫茶 今年も開店！



(久しぶりの再会も…左から前田さん、村端さん)

5月5日こどもの日。快晴です。

今年も堤防にこいのぼりが気持ちよく泳ぎ、花壇の花もきれいに咲いています。

ボランティアグループ「園」のメンバー、若王寺にある「尼崎看護専門学校」の学生7名のお手伝いをいただき喫茶オープンです。

午後1時の開店を前に続々と入居者・利用者の皆さんが来店してくださいました。

皆さん色とりどりのスイーツに目が輝き、「どれがおいしい?」「どれもおいしいよ」のやり取りも。コーヒーゼリー、サータア

ンダギー、マドレーヌ、ようかんはボランティアさん、チーズケーキ、苺ムース、あんみつは職員にお願いしました。

職員は他にも買い物、設営などそれぞれが何かの役割を分担しました。

青空喫茶は故平野繁子さんが外で喫茶店をしようと始められたものです。

現在は園田苑の行事のようになっていますが、歴史を知り、今の時代に合わせたやり方で継続していきたいと考えています。

喫茶の終盤は徳田さんのハーモニカで皆で歌おうの会になり、盛りだくさんの一日でした。ありがとうございました。

今の今を祝うための周年行事

理事長 中村大蔵

園田苑は今年の10月12日で、31年目を迎えます。

私たち役職員やボランティアにとって来し方30年の歴史ですが、入居者や利用者にとっては、「それがどうした」との感でしょうか？
今を生きる高齢者にとって、これまでの30年の歴史より、今の今をどう生きて、どう死んでいくのが切実な課題なのです。

どんな組織であれ節目としての〇〇周年は、記念すべきことでしようが、施設とりわけ老人施設にとっては、その主客を取り違えてはなりません。

30年をどなた様が如何に祝おうとも、高齢者にとっては私の今を祝うことが出来なければ、所詮意義は半減することでしょう。

だって、31年目には生きているかどうかさえ、覚束ないのですから。

園田苑でも1年間に10数人前後の方が亡くなる時代です。

現在職員の中で進められている『三〇年記念誌』の作業が、単に過去を振り返るだけでなく園田苑をどうするかとの将来を見据えたものにしようという取り組みが感じられます。

今まで5年単位で記念誌を作成してきました。「2025年」を「無事」に乗り越えても、35年がどうなっているのか、40年がどうなっているのか、考えるだけでも恐ろしくなるような気がします。

園田苑の歩みを身体ごと知っている者は急激に減ってくるだけに、なおのこと今のうちに将来構想の基盤を作らねばと思います。

橘公園に集合く！お花見だ



3月30日金曜日。毎年恒例の花見に行きました。桜の開花により予定していた日程よりも1週間も早い開催です。「子ども食堂」の子どもたち、「ほっとぷらっと」「ボランティアかざぐるま」のスタッフ、入居者・家族と大勢で賑わいました。

お天気は良かったのですが風が強く少し肌寒かったです。子どもたちの動き回る姿を見ながら、食事もお花見も楽しめました。公園に移動する際、皆さんにお手伝いをお願いしましたが、安全で無事に終わり、今年もお花見が出来たことにホッとしました。

(グループハウスヘルパー モーゼス 洋子)

地域の公園で桜を愛でる

く小規模ならではのお花見く

4月1日日曜日。薄曇りのお天気の中、善法寺公園へお花見に行きました。

少し風があり、桜の花びらが吹雪のように舞う中、写真を撮ったり、花見の思い出話をしたりして楽しい時間を過ごしました。

桜の開花を待ち望んでいたので、満開の桜を堪能し、笑顔で過ごすことができた一日でした。

(小規模多機能型居宅介護ヘルパー 榎 良子)



桜は満開で、花吹雪も見られました。また、雪柳も見事に咲き誇っており、参加された利用者も大変

喜ばれていました。

普段は訪問支援中心の利用者の方にも来ていただき、桜の花びらの中を満喫され、公園で遊んでいた小さなお子さんにも声をかけたり、とても喜ばれていました。

他の利用者も桜の花を見て、素敵な笑顔を見せてくださいました。

(小規模多機能型居宅介護ヘルパー園山 靖枝)



小規模多機能型居宅介護は通い、訪問、泊りのサービスを組み合わせ、医療や地域資源と連携し地域での暮らしを支援しています

日頃、訪問中心で通いの利用者となじみが薄い方もおられます。

今回、花見にお誘いして、木の根元に近い場所に咲く花を見て、「こんな場所に咲く桜の花を見たことがない、初めて見たわ」と喜ばれ、写真を撮り、お家に飾られる程、楽しんでいただきました。

(小規模多機能型居宅介護ヘルパー原 美智代)

馴染みの場所や関係を途切れさせず

地域とのつながりを大切にしたい



今年も「近松やまびこ会」よりお花見のご案内をいただきました。職員だけの参加はもったいないと山崎さんに声をかけさせていただくと「是非行きたい。連れて行ってくれる?」と即答です。

近松公園でのお花見では、馴染みのご近所さんと話ができ、おいしいお弁当やおでんをいただきました。心もお腹もいっぱいになりました。

園田苑の各事業所が安心して過ごせる場所であるとともに地域とのつながりを途切れさせていなか常を意識をし、行動していきたいと思えます。

できないと諦める前に
やりたいという気持ち



4月3日(火)、認知症対応型デイサービスのお花見会が開かれました。天気に恵まれ、目の前には桜並木が満開で見事な花を咲かせ、その花びらがほどよく風に舞い、本当にきれいでした。利用者の方々も口々に「サクラきれいね」と言っておられました。

いよいよお楽しみの手作り弁当!お花見弁当の蓋を開けると、「すごい!美味しそう!」とのお声をいただきました。お花見弁当は、ほとんどの皆様が完食され、とても好評でした。なかには、日頃食の細かい方も完食されていたので、私たち職員もとてもうれしく思いました。

皆で手伝うから外で花見しよう!

それからは、利用者の皆様と歌を歌い、施設長から2曲も歌のプレゼントがありました。あつという間の時間を過ごしました。

デイサービスの室内とはまた違った利用者の笑顔が見られ、本当にうれしく思いました。日頃、デイサービスでも公園や近くへ散歩にでかけるのですが、春のあったかい雰囲気のもと外で皆様と弁当を広げ、サクラの花びら舞う中、食べることの大切さを実感しました。ワイワイ会話しながら笑顔になられているまた違った皆様を見られ、私たち職員もお花見会を開催できて本当に良かったと思っています。



利用者の皆様の沢山の笑顔が見られるよう、これからも毎年、お花見会を続けていくことをお約束し、デイサービス職員一同そしてセンター職員一同頑張っていきたいと心から思っています。本当にありがとうございました。

皆様の笑顔は、私たちの宝です!

(認知症対応型デイサービスヘルパー大里ふみ)

園田苑のホームページ
頑張っ更新していきます!
ショートステイ空き情報
行事の予定・報告など

そのだえん 検索

求人情報あります

阪神共同福祉会 検索

法人理念

阪神共同福祉会は
すべての人の命を大切にし
地域福祉の担い手となる

編集後記

苑庭の草花を写真に収めたいと思うのですが、天候や草花の状態、そして自分の気持ちの余裕がベストマッチする時って難しく、結局今年は春のベストショットが撮れませんでした。

少ないチャンスをしっかりとものに出来るようになりたい。

(きりん)

家で飼っている金魚が卵を産みました。

現在30匹ほど金魚の赤ちゃんが泳いでいます

何匹成魚になることやら

(ものぐさガエル)

さあ、春です。冬にため込んだ肉襦袢を脱ぎ捨てましょう。

あれ?脱げないよ、どうしよう。頑張つて、ダイエットしましょう。

(だるま大使)

5月1日ごろからSADームにつばめの姿が。一週間後には見事な巣が完成。昨年はカラスの襲撃でひながかえることは叶わなかったのですが、今年は静かに応援していきたいと思っています。

週に一回はホームページでお知らせできるよう頑張ります。

(きんたろう)